

調査事例紹介：その51



日本初のコンビニは豊中にあった？！

豊中市立図書館には、毎日いろいろな調査の依頼が届きます。
そのうちの一部をご紹介します。

Q. 豊中市に日本初のコンビニがあったとネットの記事で見たが、本当か。どこにあったのか。

A.
昭和44（1969）年3月17日、豊中市千里園3丁目にオープンしたスーパー「マミイ」（協同組合マイショップ・チェーン加盟店）。ただし、同店を日本初のコンビニとするかどうかについては諸説あり。

「マミイ」は千里園の市場「大成ストア」の小売店の店主たちが、共同出資してできたスーパー。1階が小売店で食料品を販売、2階がスーパーで衣料品や雑貨などを販売していた。協同組合「マイショップ・チェーン」に加盟し、商品を共同購入で安く仕入れていた。

参考資料

『コンビニの雑学』（オーエス出版社）p16

1969年に豊中市にマイショップが開店したという記載に加え、コンビニ一号店を1974年5月にオープンした「東京都江戸川区のセブン・イレブン」だとしている。一号店をマイショップ豊中店にしなかった理由として「それ以前の総合食料品店などの差別化が不徹底であったからだ。むしろ、コンビニというよりもミニスーパーに近かったといえる」としている。

『公共空間としてのコンビニ』（朝日新聞出版）p213（府立図書館所蔵資料）

「コンビニが日本で始まったのは、1974年のセブン-イレブンの開業とされることが多いが、正確には1960年代末である。1969年、大阪豊中市に開業した「マイショップ」第一号店「マミー」だった。」とある

「小売店が共同でスーパー経営 豊中 大型店への対抗策 千里園に 17日オープン」
1969.3.9（産経新聞）

「スーパーで客寄せ 小売店 共同経営で巻返し 豊中」1969.3.9（朝日新聞）
ほか新聞記事あり。

調査の過程は豊中市立図書館サイトでも公開しています。ぜひご覧ください！